

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	IPPOプログラミング兵庫校		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 6日		～ R7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	R7年 1月 6日		～ R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化されない様、児童の成長に合わせたプログラムがある。	児童の成長や特性に合わせ、本人が意欲的に取り組めるよう、その時好きなモノやキャラクターを使用したプログラム作成。	時代に合わせたITプログラムの実施（生成系AI、メタバース、VR）
2	・ITカリキュラムと宿題の取り組む順番や、ITカリキュラムが複数ある為、日々の活動から自己選択、自己決定のを行い取り組む事ができている。	・来所時間や勉強部屋やパソコンの空き状況に応じて、ITカリキュラムや宿題に取り組む順番など本人の意見を尊重し声掛けを行い、周りの状況や時間を意識した行動が出来る様に取り組んでいます。 ・ITカリキュラムは複数ある為、本人や保護者様の意見を尊重した上で、タイピング検定やscratch検定などを実施し、自身の能力の確認するとともに、自信に繋がる機会を作っています。	・ITカリキュラムのカリキュラム内容を増やし、選択できる幅を増やしていく。 ・タイピング検定やscratch検定以外の検定等を作成し、目標を持って取り組める機会を増やす。
3	・保護者様からご要望がある児童に対して、靴紐、お箸、はさみの使い方、手指の巧緻性や両手の協調性の向上に向けた個別の療育を実施しています。	・個々の課題や特性に合わせて個別療育を行っており、日々の療育の活動内容をもとにミーティングや研修を行っている。	・研修や勉強会で職員全員の知識と経験の向上。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）との連携の機会が少ない為、連携の機会を増やし緊急時等の迅速に対応出来る様改善を行っています。	・協力医療機関や地域の病院等での連携が担当者が行っていた事や事業所内での事故や怪我がなく協力医療機関に受診する機会がなかった為。	・連携や情報共有の機会を増やしていく必要がある。
2	家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会を増やす。	・家族支援プログラムや家族等の参加できる研修の為の会議等の実施が少ない為。	・従業員のペアレント・トレーニング等の知識向上と支援プログラムや研修会を行う為の準備や話し合いの機会を増やしていく必要がある。
3	・事業所の行事に地域住民を招待する機会がない	・地域住民を招待した際に児童の安全を考慮した見守りが難しくなるため。	・児童の安全に見守りが出来る環境や人員配置を行う必要がある。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		IPPOプログラミング兵庫校				公表日	2025年 3月 3日				
						利用児童数	46人		回収数	23枚	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	0	0	2	・活動で部屋が分かれているので確保されていると思う。	・引き続き、十分に活動スペースを確保したうえで、お子様がより過ごしやすい環境づくりを検討していきます。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	4	・適切だと思う。	・職員の支援スキルの向上のための取り組み、円滑な業務遂行の仕組みづくりをおこなっていきます。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1	0	5	・バリアフリー化はされているか分からない	・利用者の皆様が安心して利用できる環境を提供するために、環境づくりを検討していきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	0	0	1	・区分別けできている。	・利用者のご意見をいただき、清掃を日常的におこない清潔で心地よく過ごせる環境作りを行っていきます。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	0	0	1	・受験時などは面接の練習など、必要に応じて色々な支援をしてくださっていると思います。 ・支援受けれていると思う。	・こどもの特性を理解した支援を実施する為に専門知識を深める為の研修を定期開催し、個別支援計画書の精度向上や支援方法の多様化を検討しています。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1	0	2		・定期的にカンファレンスを開催。支援内容の見直しや利用者の意見を収集し、整合性を確保する仕組みを強化しています。			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	0	0	0		・引き続き、お子様や保護者様の方から意見を頂戴し、職員間で情報共有を行ったうえで個別支援計画書を作成していきます。			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1	0	0	・個別支援計画書の作成の際、面談して頂く時に色々相談に乗ってもらえたり支援の説明をしてもらっている	・引き続き、職員間で情報共有を徹底したうえで個別支援計画書を作成し、保護者様への説明についても書面を用いて分かりやすく説明を行う様努めていきます。			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	0	0	0		・個別支援計画書の作成時に保護者様へ丁寧に説明し日々の支援内容について保護者様へ細かく情報共有を行い、個別支援計画書に沿った支援を行っている様、日々活動後のミーティングを継続して行っています。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1	0	1	・イベントが定期的にある。	・イベントや活動プログラムの情報発信の機会を増やし、皆様に周知して頂ける様に努めています。			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	4	12	・他のIPPOグループの子も達や就労Bの利用者さんとの交流ですがいい機会だと思います。 ・特定日にあるのは知っているが曜日の関係で参加したことがない	・皆様が参加の機会がある様に曜日の偏りがないように配慮し、イベントの機会を増やせるよう努力してまいります。			
保	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1	0	0	・説明ありました	・事業所を利用する際に、運営規定、支援プログラム、利用者負担等、細部までの説明や相談の機会を設けていきます。			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1	1	0	・説明ありました。	・個別支援計画書の支援内容の説明について保護者へ個別説明の機会を増やしていきます。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	3	4	7	・研修等はないが、活動は送迎時に伝えられている ・研修会はないと思う。	・ペアレント・トレーニング等研修会や情報手今日の機会を作れるよう検討いたします。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	23	0	0	0	・送迎の際に伝えてもらっている	・引き続き送迎時やお迎えの際に情報共有や必要に応じて連絡をとらせていただきながら、お子様の共通理解ができるよう努めていきます。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	0	1	1	・送迎の際に伝えてもらっている	・保護者様との意見交換を充実させ、相談の機会を設けていきます。			

護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	0	0	0	・送迎の際に伝えてもらっている	・日々の情報共有を通じて、お子様および保護者の方と共通理解できるよう努め、共感的に支援を行うことを徹底していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	5	12	・交流は望んでいません。 ・開催されているのかもしれませんが分からない。	・保護者様同士の交流の機会と周知が出来る様、検討致します。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	2	0	2	・ささいな事でも対応してもらっている。	・利用開始後も相談窓口の周知を行っています。相談があった際の対応を迅速に行い、適切な対応を徹底しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	0	0	2	・様々なツールを使って連絡等してもらっています。	・情報伝達手段を導入し、スムーズな対応を心掛けています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	2	0	1	・発信されていますが私自身SNSは見ません。	・ホームページや、SNS,行事予定等を更新した際の告知の発信について検討し皆様に周知して頂ける様努めていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	3	・はい。思います。	・個人情報の取り扱いに関して社内研修を行い、今後も徹底してまいります。
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	2	8	・事業所で実施されていると思われますが、そこまで保護者が理解できていないというのが現状だと思う。
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	0	1	12		・非常災害の発生に備え、避難、救出その他必要な訓練の見直しを行い、利用者全員が参加できる機会を設けていきます。
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	6		・安全計画の内容の説明を皆様に周知して頂ける様努めていきます。
26		事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	2	0	7	・電話が繋がらない時などでもメール等で迅速に連絡もあります。	・体調不良等が発生した際に、保護者様に連絡を行い、繋がらない場合は緊急連絡先への連絡を徹底していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0	・子ども達は先生方をとても慕っているのがとても伝わってくるので安心して通所しております。 ・現時点で事故等なし ・はい、一人で通所しています。	・引き続き安心感を持って通所出来る様、日々の送迎や通所の際への安全確認や、施設の環境設備などを行い、安心して通所できる様努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	0	0	0	・とても楽しみにしています。 ・楽しみにしています。	・引き続き、個々の関心や興味に合わせたプログラムの導入や本人が意欲的に取り組めるよう個別でのカリキュラム作成を行い、お子様達の興味や時代に合ったカリキュラムや活動ができるよう努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	0	0	0	・子どもに対する支援は満足ですが、非常時等の対応については満足していません。 ・満足しています。	・緊急時の対応、マニュアル訓練等の周知と実施をしていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		IPPOプログラミング兵庫校		公表日		2025年 3月 3日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	勉強部屋、ITカリキュラム、余暇時間と活動によってスペースを分けています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	1	活動内容や時間帯に応じて、職員の配置を調整し、子ども一人ひとりに目が行き届くよう工夫しています。	定期的に職員配置の適正性を評価し、必要に応じて改善を行い、保護者様のご意見や職員の声を取り入れながらより良い体制を整備していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	活動エリアを分かりやすく区分し、視覚支援として、スケジュールやルールを掲示し、子どもが見て理解しやすい形にしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・毎日の清掃とエアコンなども決められた期間内で清掃しています。活動エリアを分かりやすく区分し活動に合わせた空間を作っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・相談室や勉強部屋ある為、必要に応じて個別の対応をする事ができています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	・日々のミーティングと目標を定め会議や研修等行っております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・保護者様からの評価表やご意見を元にカリキュラムの改善やイベントの実施など行っています。	・保護者向け評価表でのいただいたご意見で保護者会等の実施。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・朝、夜のミーティングの実施。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	・保護者様のご意見や他施設の方からのご意見をいただき、業務改善に取り組んでいます。	・第三者による外部評価の機会を増やし業務改善に繋げていけるようにしていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・月一回以上の研修会を実施。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・プログラミング校での支援プログラムの見直し作成の会議を行い、ホームページや保護者様への周知を行っております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	・アセスメントや面談を通じての要望や日々の活動での課題に対しミーティングを行い、個別支援計画書の作成に繋がっています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・日々のミーティングやサービス担当者会議で職員全員の意見の聞き入れ作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・サービス担当者会議で職員全員の意見を聞き入れ、個別支援計画書作成後の確認後、支援計画書に沿った支援を実施しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	・日々の活動の記録を作成しそれをもとにミーティングを行っています。	・適応行動の状況を標準化されたアセスメント等の策定し更新していきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・面談等で必要な課題や要望、日々の活動の様子や職員の意見を聞き入れ個別支援計画書の作成を行っています。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	児童の成長や特性に合わせ、本人が意欲的に取り組めるよう、その時好きなモノやキャラクターを使用したプログラム作成	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	活動プログラムが固定化されない様、児童の成長に合わせたプログラムがある。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・こどもに応じて個別や集団の課題が異なってくるため、日々のミーティングや保護者様との面談をもとに作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・ミーティングを行い、職員の役割分担について日々行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・毎日ミーティングを行い、活動記録や個別支援計画書をもとに話し合いを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・日々の活動の記録をとり、それをもとにミーティングや個別支援計画書に反映しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・送迎やお迎えの際に、最近の様子などお伺いし、定期的なモニタリングをもとに個別支援計画書の見直しをおこなっています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0	・宿題のサポートやITカリキュラムでのプレゼンテーション資料作成や発表やスケジュール作成以外にも、定期的なイベントでのお買い物体験など様々なイベントを行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	・ITカリキュラムの内容が複数ある為、決められた時間内で自身でカリキュラム内容を選択できるだけでなく、宿題やITカリキュラムを取り組む時間も自己選択、自己決定を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・サービス担当者会議や関係機関の会議は管理者、児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2		・地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）との連携の機会が少ない為、連携の機会を増やし緊急時等の迅速に対応出来る様改善を行っていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	・学校側から配布や告知される年間計画や行事、下校時刻などこちらで把握するだけでなく、毎月保護者様からご連絡をいただいております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	・同法人の児童発達支援事業所との情報共有を行っております。	・保育所や幼稚園、認定こども園などの情報共有不足な点がある為、改善し情報共有の機会を増やしていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		・学校を卒業し福祉サービス事業所等へ移行する児童がいなかった。来年度の卒業する児童がいるため、支援内容などの情報共有を行っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	4		・研修など直接関わり合う機会が少ない為、機会を増やしていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会を増やしていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	・区の協議会に参加しています。	・サービス提供時間や保護者様からの面談等により参加できない日がある為、管理者・児童発達支援管理責任者以外の職員が参加出来る様に努めていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・毎日ミーティングで発達の状況や課題について話し合いを行っております。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4		・家族支援プログラムや家族等の参加できる研修の為の会議等の実施が少ない為、研修の機会を増やしていきます。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・運営規定、支援プログラム、利用者負担等、説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・毎日のミーティングでもこどもや保護様のご意見を尊重した支援ができる話し合いをしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	・個別支援計画書の説明を示しながら支援内容を説明し同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・定期的な面談の他、送迎の際やお迎えの際に情報共有やご相談に応じています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	4		・父母の会や保護者様同士で交流する機会が少ない為、機会を増やしていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・現在苦情がありませんが、今後迅速に対応できる設備と対応が出来るように努めていきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・Instagramや活動の記録など定期的に発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・個人情報に記載された書類は鍵付きの棚に保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・子どもの特性を把握し、保護者様との情報共有を行っています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		・地域住民を招待しての事業運営が出来ない為、その機会を作っていききたい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、定期的に研修を行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		・定期的な研修や訓練だけでなく、実際に起こった場合を想定した訓練や外部研修など検討し、緊急時に迅速に対応、行動出来る様努めていききたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	・契約時に一人ひとり聞き取りを行い、配慮し情報共有、見守りを行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	・アレルギーのあるこどものリストを作成し、食事をする際やおやつを買う際に必ずスタッフや事前に保護者様からの同意をいただいています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・感染症対応マニュアルに沿った研修以外にも、嘔吐処理の研修や次亜塩素酸水の作り方など定期的に研修、訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		・緊急時の避難方法について、状況別で分ける等詳細の取り決めを行い、周知していききたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・ヒヤリハット事例が起こった際には、報告書を作成・保管し職員間で共有しています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・虐待防止など定期的に研修をおこなっています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	・身体拘束について定期的に研修を行っています。		